

授業科目	比較文化論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO11805J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP4-2			
担当教員	神崎 明坤							
授業概要	世界の国々(主として中国)と日本の文化について毎回、1つのトピックに絞って比較をする。それぞれの文化にはそれぞれの長い歴史や置かれた環境の影響があるため、そのようなことについても学んでいく。							
学生が達成すべき行動目標	さまざまな国の文化を同時に学ぶことを通して、多文化が共生できる社会を構築するにはどのようなことが必要か、自分には何ができるのかを知る。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	0	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	50				15		65	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)		20			15		35	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本と他の国の文化の違いが生まれた背景を理解できる。				日本と他の国の文化の違いを知ることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業の概要の説明 「文化」の概要説明			講義		復習		60

2	地理的視点での文化比較	講義	予習、復習	60
3	歴史、政治及び経済	講義	予習、復習	60
4	宗教及び日常生活	講義	予習、復習	60
5	思想(儒教、道教、仏教)について	講義	予習、復習	60
6	日本人と中国人の物の考え方に関する相違	講義	予習、復習	60
7	衣食住	講義	予習、復習	60
8	お茶の文化	講義・小テスト	予習、復習	60
9	祭り、イベント(年中行事)	講義	予習、復習	60
10	若者の文化及び価値観	講義	予習、復習	60
11	文学と言葉(1)	講義	予習、復習	60
12	文学と言葉(2)	講義	予習、復習	60
13	教育	講義	予習、復習	60
14	映画の鑑賞	講義・小テスト	予習、復習	60
15	纏めと試験	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	学内外の国籍が異なる人々となるべく多く会話をする機会を設ける。			
テキスト	適宜プリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	サミュエル・ハンチントン、『文明の衝突』、集英社 尾形勇、上田信等『中国の歴史』1巻から12巻 講談社 近藤治等『アジアの歴史と文化』、同朋舎			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業では国際的な視点での多文化共生を学ぶので、授業で学んだことを日常生活で生かしてください。まずは、身近に接する(特に自分とは異なる)人たちと共生することを意識してください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	授業中には、受講生の発言を求める機会を多く設けます。多文化共生には「声をあげることも重要な要素であり、積極的な参加を期待したい。			

